

ご家族の方へ

薬物依存症は、脳の神経系に異常をきたした状態であり、本人の意志の力だけでコントロールできるものではありません。やめさせようと「叱責」したり「処罰」するだけではむしろ状況を悪化させてしまいます。

また本人が治療の必要性を自覚するまでには時間がかかることも多く、本人を治療につなげるためには「適切なサポート」のしかたを知ることが大切です。

相談機関には専門医療機関や精神保健福祉センター、保健センターなどがあります。また、依存症本人やその家族同士が回復に向けて支えあっていく自助グループもあります。

依存症に対する正しい知識を持つことも本人の回復に有効ですので、知識を得るために家族のつどいや家族教室等に参加してみることもよいと思います。

名古屋市精神保健福祉センターの「依存症相談窓口」ではご本人、ご家族からの相談をお受けしています。お気軽にご相談下さい。



依存症相談窓口

- 対象者
名古屋市内在住、在勤、在学の薬物依存で悩んでいる方、またはそのご家族。
- 相談方法
予約制の面接相談（事前に電話でご予約ください）
- 専用電話
052-483-3022（2018.7/1～）
- 開所時間
月～金（祝休日及び年末年始を除く）
午前8時45分～午後5時15分

※専門の相談員が対応します。
※相談内容については秘密を厳守します。
※相談は無料です。

【交通のご案内】



- 地下鉄 「中村日赤」下車、徒歩約10分
 - 市バス 「中村保健センター南」下車、徒歩約4分
 - 名鉄バス「中村保健センター南」下車、徒歩約4分
- ※来所の際は公共交通機関をご利用ください。

名古屋市精神保健福祉センター

〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4丁目7-18
電話：052-483-2095
FAX：052-483-2029

名古屋市精神保健福祉センター

検索

薬物問題でお困りの方へ



名古屋市精神保健福祉センター

薬物依存症とは

薬物を使用し、その効果が薄れてくると、薬物が欲しいという強い欲求（渴望）がわいてきます。その渴望をコントロールできずに、くり返し薬物を使ってしまう状態をいいます。依存症は、依存性のある薬物を繰り返し使用した結果、脳の神経系に異常をきたした状態といえます。

依存性のある薬物の種類

覚醒剤、大麻、危険ドラッグ、シンナー、麻薬、一部の市販薬や処方薬などがあります。

回復に大切なこと

薬物依存症の治療薬は現在のところありません。薬物を使いたいという気持ちを完全になくす（治癒）ことは難しいですが、薬物を使わない生活を取り戻す（回復）ことは可能です。

薬物を止め続けるためには、適切な治療を続けることと、当事者同士が集まり回復を支援しあう自助グループへの参加が有効です。

こんなことはありませんか？

- 感情の起伏が激しく、人が変わったようになった
- 意味不明な話をしたり行動がまとまらないことがある
- 薬物を使い大声を出したり暴れたりする
- 薬物が原因で身体の不調があり受診した



依存症から回復するためには、専門医療機関を受診するだけでなく、当事者同士が集まり回復を支援しあう自助グループに参加することも大切です。名古屋にもいくつかの自助グループがあります。

自助グループ（本人や家族の集まり）

名古屋ダルク

☎・FAX 052-915-7284

<http://nagoyadarc.jp>

E-Mail nagoyadarc@yahoo.co.jp

対象者 薬物等の依存問題を持つ本人・
家族・関係者

NPO愛知家族会

☎090-7866-6753

FAX番号 0561-21-6464

<http://www.aichikazokukai.com/>

E-Mail jimukyoku@aichikazokukai.com

対象者 薬物問題を持つ当事者

相談機関

精神保健福祉センターの他、専門医療機関やお住まいの区の保健センターなどでも相談できます。

名古屋市内では、上記以外にも様々な機関が薬物依存症に関する支援を行っています。

精神保健福祉センターでは、市内の医療機関や支援機関等の情報をまとめた「[名古屋市嗜癮（しへき）問題支援機関リスト](#)」を作成しています。

支援機関リストは名古屋市精神保健福祉センター及び各区保健センターで配布しているほか、市公式ウェブサイトからもダウンロードが可能です。

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000040447.html>（嗜癮機関リスト）

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/22-5-3-0-0-0-0-0-0-0.html>
（名古屋市精神保健福祉センター）